

活動基本方針：

- (1) 「**食の3次機能**」の価値を自然にかつ効果的にアピールできる仕組み造りに向けた環境の基盤整備の推進
- (2) **食の3次機能**による健康長寿社会の実現を目指し、国民の健康労働寿命の延伸と機能性食品産業振興への貢献
- (3) 産官学政での議論を通じ、食の研究と産業とを繋ぐ政策提言の実行
- (4) 機能性表示食品制度の見直しに向けた提言・要望およびパブコメ等への意見提出をJABEX等関係機関とも連携し実施

2026年度（令和8年度）活動：

国民の健康寿命の延伸と産業振興への貢献を目指し、バイオエコノミー戦略2024に紐づく活動を推進し、講演会や会員相互の意見交換などを通じて「**食の3次機能**」に関わる法律・制度の見直しに向けた要望と提言を纏め、JABEX等と連携して関係機関へ提出する。機能性食品産業において、一企業では解決を図ることが難しく、業界一丸となって議論すべき中期テーマとなりうる課題を研究会で議論し、**機能性**食品産業のイノベーションとグローバル展開を見据えた新事業創出に繋げる。

具体的（提言・要望）活動：

- サプリメント法の動向把握と輸出に向けたGMP関連情報について、共有化 & 意見交換をする
- 適切な科学的エビデンスの質についての情報提供と意見交換をする
- 国の健康施策における食の3次機能の位置づけの確立に向け、WGを立上げ、具体的な活動を検討する

研究会・講演会（JBA会員、他公開）：

- 研究会・講演会を年5回実施
 - ✓ うち、2回は新たなヘルスクレームにつながるアカデミックな情報の提供
 - ✓ うち、3回は政策・規制・科学的エビデンスの質に関わる情報の提供と意見交換を実施
 - ・ うち、1回はGMPに関わる現場視察と連動した会とする
 - ✓ 会員の相互コミュニケーション活性化のため、小グループによる意見交換やポスター発表による自社技術紹介を実施

連携：

- (1) 健康食品産業協議会との連携強化
- (2) 産業支援官庁（経産省ヘルスケア産業課、農水省）との連携模索